

からふとの アイヌゴ



さばは

.....
あたま



しきひ

.....
め



てきひ

.....
て



なぬふ

.....
かお

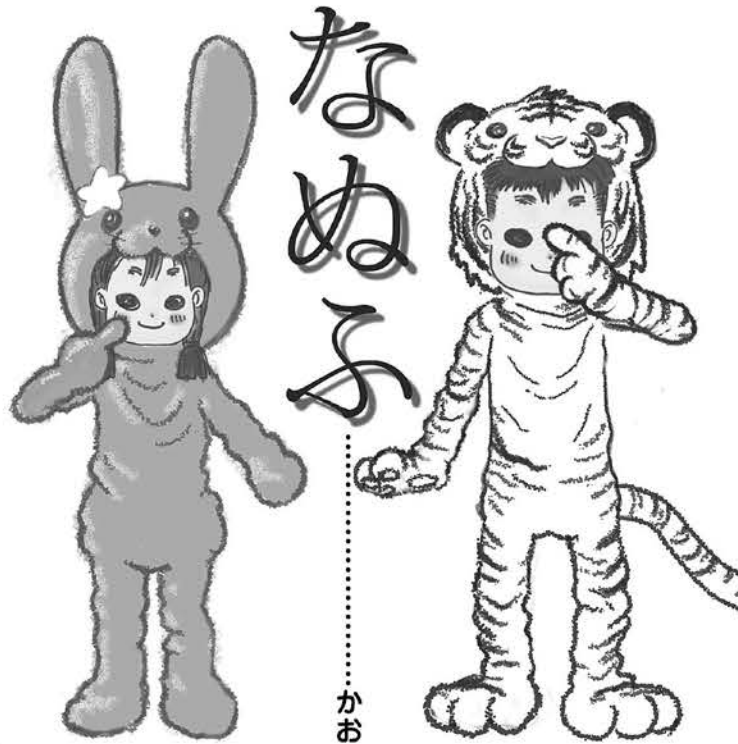
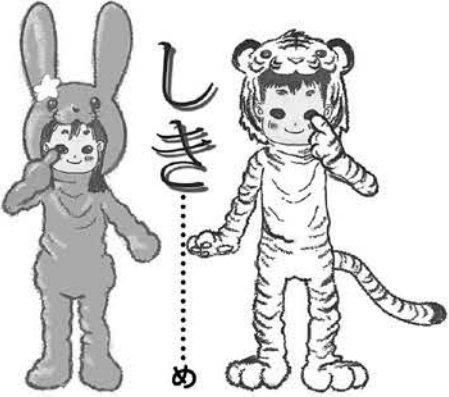


けまは

.....
あし



からふとの アイヌゴ



このテキストについて

当公益財団では、2010年度にアイヌ語千歳方言、美幌方言、幌別方言の教科書を作成しました。2011年度は、前年度に作成された教科書を踏襲しつつ改良を加え、静内方言、釧路・白糠方言、十勝方言の教科書を新たに作成しました。今年度は更に、石狩川方言、沙流方言、カラフト方言の教科書を作成しました。

編集方針

この『からふとのアイヌご』は、アイヌ語の基本的な表現を聞き、口にすることを通じて、アイヌ語に親しむことを目的に編集しました。文法解説にはあまり踏み込まず、1年を通しての暮らしの中で子供たちが実際に使えるような文を掲載してあります。4月から始まっていますが、各月が独立していますので、どこから始めてもかまわないように編集してあります。教室ではあまり細かな解説はせず、例文を繰り返して聞き、発音をすることでフレーズを覚えてしまうことが最初の目標になります。例文を覚えた後は、練習問題に取り組むことによって応用ができるようになることを目指しましょう。

アイヌ語にはさまざまな方言があり、生活習慣も地域によって多少違います。そうした他地域の言葉・文化に関心を持ち、自分の地域についてもよく知るきっかけとなるよう、必要に応じて他方言についても解説しています。

本文に加え、伝統的な言葉あそびや、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載しています。副教材としてカルタも添え、さまざまな角度から、楽しみながら言葉を身につけられるようにしています。

例文と単語について

本書『からふとのアイヌご』の例文と単語は、主に樺太西海岸の藤山ハル氏（来知志出身、1900—1974）、浅井タケ氏（小田洲出身、1902—1994）、沼端ウメ氏（鶴城出身、1895—1950年代？）ほか2名（小田洲出身）によって残された音声資料や文字資料に基いています。各ステップの例文は、資料の文例をそのまま掲載した場合がありますが、教科書執筆者による作例の場合もあります。また、各ページで説明した内容を盛り込むために、短く単純な言いまわしにしています。

なお作例した場合であっても、上記の話者による単語や類似した文例を参照しています。

音声について

アイヌ語の発音は日本語と異なっており、特に難しいところは、音声を聞きながら学習する必要があります。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように、例文や単語、言葉あそび、歌などの音声を収録しました。収録に協力してくださったのは、普段は日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた方々です。一

般に言葉を学ぶときには、もともとその言葉を使っている方から教わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうしたアイヌ語の発音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから、音声を用意しました。

文化的事項について

本書はアイヌ語の教科書ですが、アイヌ文化に関する解説をしたコラムを挿入してあります。これには三つの理由があります。アイヌ語話者の発話の中には、文化的な背景の説明を要する語彙が含まれていることがあります。また、アイヌ語を学ぼうとする動機は様々ですが、本書を用いて学習する方々には、かつての生活習慣についてもあわせて学びたいという動機を持っている方が少なくないと考えられます。そして、言葉の学び方は一つではなく、言葉を文化的な文脈の中で、時には体験もまじえて習得することが効果を生むことも考えられます。こうした理由から文化的な解説も行うこととしました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方は、『初級編』や『中級編』に進んでみてください。さらに学習を進めたい方は、これまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を通じて、自然なアイヌ語の文に触れる事をおすすめします。

この本を作る過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

【例文・単語】

太田満 (石狩川方言)、大野徹人 (沙流方言)、北原次郎太 (カラフト方言)
高橋靖以 (執筆協力)

【文法解説】

太田満 (石狩川方言)、大野徹人 (沙流方言)、北原次郎太 (カラフト方言)
高橋靖以 (執筆協力)

【言葉遊び・歌】

北原次郎太

【音声収録 (五十音順)】

太田奈々、加納ルミ子、川上さやか、かわむらひさえ、すぎむら、たけうちはやと、
豊川容子、なかいたかのり、はちやま、い やまむら、やまむら、やまもと、
山道陽輪、山本りえ

【イラスト】

小笠原さよ、しいなあん
小笠原小夜、椎名庵

はじめに

こんにちは、アイです。ヌイです。タクです。



アイ



ヌイ



タク

アイ：タク君、この本で一緒にアイヌ語を勉強しようね。

タク：勉強？ ぼく勉強は苦手だなあ。

ヌイ：でもタク君、アイヌ語に興味があるんでしょう？

タク：うん、どんな言葉なのか、ちょっとだけ知りたいなあと思って。アイちゃんは？

アイ：私は、アイヌ語を話せるのってカッコイイかなって思うのと、アイヌ語で日記とか書いてみたい。「今日の晩ごはんはとってもおいしかったです。だけど、お手伝いをしなかったので、お母さんにしかられました、マル」とかね。

タク：へえ～。この本で勉強したら、アイヌ語で日記が書けるようになるの？

アイ：ううん、そうじゃないの。この本は、タク君みたいにちょっとだけ知りたい人向き。だから、あんまりむずかしい説明はなくて、アイヌ語をそのまま覚えて口に出してみましよう、ということをめざしているみたい。私は、この本が終わったら、次は『初級編』、『中級編』に進んでいくつもり。

タク：それならば僕は、『初級編』までいかどうか自信がないけど、まずはこの本を見てみることにするよ。でも、他にもやりたいことがいろいろあるし、きっと1ヵ月に何回かしか使わないよ。

ヌイ：そのくらいでもいいんじゃない？この本は、最初から読んでいって、だんだんむずかしくなるっていうんじゃないくて、どこから読みはじめてもいいみたい。歌ものってるし。

タク：他のところは飛ばして、歌のところだけ見ようかな？

アイ：私は春から使い始めてほしい1ヵ月にひとつずつ読もうと思ってるの。今年のクリスマスには「ジングルベル」をアイヌ語で歌うつもり。一緒に歌う？

タク：じゃあ僕もアイちゃんと一緒にこれで勉強しようっと。来年は、アイヌ語でアニメソングを歌いたいな。

もく
目

じ
次

4月 ^{がつ} みんなで遊 ^{あそ} ぼう.....	10
5月 ^{がつ} 楽しい山 ^{たの} 菜 ^{さん} とり.....	12
♪うたってみよう(1)～森 ^{もり} のくまさん～♪	14
6月 ^{がつ} 走 ^{はし} るのが速 ^{はや} いね.....	16
7月 ^{がつ} 海 ^{うみ} へ行 ^い こうよ.....	18
♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪	20
♪8月 ^{がつ} 先祖 ^{せんぞ} を大切 ^{たいせつ} に.....	22
9月 ^{がつ} おいしいものがいっぱい.....	24
♪うたってみよう(3)～おびひろのおどりうた～♪	26

10月	冬 <small>ふゆ</small> が来 <small>く</small> る前 <small>まえ</small> に	28
11月	針 <small>はり</small> と糸 <small>いと</small> をもつて	30
	♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜 <small>よる</small> ～♪	32
12月	今日 <small>きょう</small> も寒 <small>さむ</small> いねえ	34
1月	お祭 <small>まつ</small> りの準 <small>じゅん</small> 備 <small>び</small>	36
	♪うたってみよう(5)～からだのうた <small>からだのうた</small> (しずかなこはん)～♪	38
2月	カムイ <small>カムイ</small> に感 <small>かん</small> 謝 <small>しゃ</small> をする	40
3月	子 <small>こ</small> グマ <small>グマ</small> を授 <small>さず</small> かる	42



アイヌ語(カラフト方言)の音節(カタカナ表記)

【母音】

ア／アー イ／イー ウ／ウー エ／エー オ／オー

【子音+母音】

カ／カー	キ／キー	ク／クー	ケ／ケー	コ／コー
サ／サー	シ／シー	ス／スー	セ／セー	ソ／ソー
タ／ター		トウ／トウー	テ／テー	ト／トー
チャ／チャー	チ／チー	チュ／チュー	チェ／チェー	チヨ／チヨー
ナ／ナー	ニ／ニー	ヌ／ヌー	ネ／ネー	ノ／ノー
ハ／ハー	ヒ／ヒー	フ／フー	ヘ／ヘー	ホ／ホー
パ／パー	ピ／ピー	プ／プー	ペ／ペー	ポ／ポー
マ／マー	ミ／ミー	ム／ムー	メ／メー	モ／モー
ヤ／ヤー	イ／イー	ユ／ユー	イエ／イエー	ヨ／ヨー
ラ／ラー	リ／リー	ル／ルー	レ／レー	ロ／ロー
ワ／ワー		ウ／ウー	ウエ／ウエー	ウオ／ウオー

【母音+子音】

アシ	イシ	ウシ	エシ	オシ
アン	イン	ウン	エン	オン
アハ	イヒ	ウフ	エヘ	オホ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アウ			エウ	オウ

【子音(例としてカ行の音)+母音+子音】

カシ	キシ	クシ	ケシ	コシ
カン	キン	クン	ケン	コン
カハ	キヒ	クフ	ケヘ	コホ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カウ	キウ		ケウ	コウ

*例文の中で、前後の音によって発音が変わる場合、その発音を下線で示しました。

アイヌ語(カラフト方言)の音節(ローマ字表記)

【母音】

a / aa	i / ii	u / uu	e / ee	o / oo
--------	--------	--------	--------	--------

【子音+母音】

ka / kaa	ki / kii	ku / kuu	ke / kee	ko / koo
sa / saa	si / sii	su / suu	se / see	so / soo
ta / taa		tu / tuu	te / tee	to / too
ca / caa	ci / cii	cu / cuu	ce / cee	co / coo
na / naa	ni / nii	nu / nuu	ne / nee	no / noo
ha / haa	hi / hii	hu / huu	he / hee	ho / hoo
pa / paa	pi / pii	pu / puu	pe / pee	po / poo
ma / maa	mi / mii	mu / muu	me / mee	mo / moo
ya / yaa	yi / yii	yu / yuu	ye / yee	yo / yoo
ra / raa	ri / rii	ru / ruu	re / ree	ro / roo
wa / waa		wu / wuu	we / wee	wo / woo

【母音+子音】

as	is	us	es	os
an	in	un	en	on
ah	ih	uh	eh	oh
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
aw	iw		ew	ow

【子音(例としてk)+母音+子音】

kas	kis	kus	kes	kos
kan	kin	kun	ken	kon
kah	kih	kuh	keh	koh
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kaw	kiw		kew	kow

*母音+mの音節はしばしば母音+nのように発音され、新しい世代の話者ほどその傾向が強いと言われています。本書の中では、それぞれの資料の発音・記載どおりに表記することとし、統一はしていません。

がつ 4月 みんなで遊ぶほう

フクジュソウの花の咲く春は、あたらしい仲間や友だちに出会うことが多い季節です。
みんなでアイヌ語を勉強べんきょうしましょう。


ナータ トウラ エエキヒ？
naata tura e=ekihi?
だれ誰 ととともに きみ君が・く来ること
「誰と来たの？」

クオンモ トウラ クエキヒ。
ku=ommo tura ku=ekihi.
わたし私・かあお母さん ととともに わたし私が・く来ること
「お母さんと一緒に来たの」

ケエハ アイヌ イタハ アニ ユーカラアナハチ。
keeh aynu itah ani yuukara=anahci.
さあさあ アイヌアイヌ ことば言葉 でで うた歌う・わたし私たちが
「さあアイヌ語で歌いましょう」

キナエプイ エヘピタハパハチ。
kinaepuy ehepitahpahci.
くさ草の はな花 さ咲く (複数)
「草の花が咲いた」



 おぼえよう～季節をあらわす言葉～

パイカラ	paykara	「春」
サキータ	sakiita	「夏」
チュキータ	cukiita	「秋」
マタイタ	matayta	「冬」



 れんしゅう 練習

クオンモ トウラ クエキヒ。
 ku=ommo tura ku=ekihi.
わたし かあ 私の・お母さん とともに 私わたしが・来ること
 「お母さんと一緒に来たの」

わたし かあ 「私のお母さん」の部分を他の人ぶぶん ほか ひとに置き換えて言ってみましょう。

クアーチャ (ハ) ku=aaca(ha) わたし どう 「私のお父さん」
 クヘンケ (ヘ) ku=henke(he) わたし 「私のおじいちゃん」
 クアハチ (ヒ) ku=ahci(hi) わたし 「私のおばあちゃん」
 () の中の字は省略できます。

 れんしゅう 練習

ユーカラアナハチ。
 yuukara=anahci.
うた わたし 歌う・私たちが
 「歌いましょう」



うた 「歌う」の部分を他の言葉ぶぶん ほかに置き換えて「～しましょう」と言ってみましょう。

ヘチレ hecire あそぶ 「遊ぶ」
 ホシピ hosipi かえ 「帰る」
 パイエ paye い 「行く」
 イペ ipe しょくじ 「食事する」
 チャシ cas はし 「走る」

がつ たの さんさい
5月 楽しい山菜とり

おそ ゆき お やまやま すこ みどり さんさい しょくたく
遅い雪どけが終わった山々に少しずつ緑がめばえてくると、やがて山菜が食卓をにぎ
わす季節になります。アイヌ語を声に出しながら自然の恵みをいただきましょう。

ムンキーアナハチ クス パイエアナハチ。
munkii=anahci kusu paye=anahci.

さんさい わたし
山菜をとる・私たちが するために 行く・私たちが
「山菜とりに行きましょう」

キウ アンタハチ クス。
kiw an=tahci kusu.

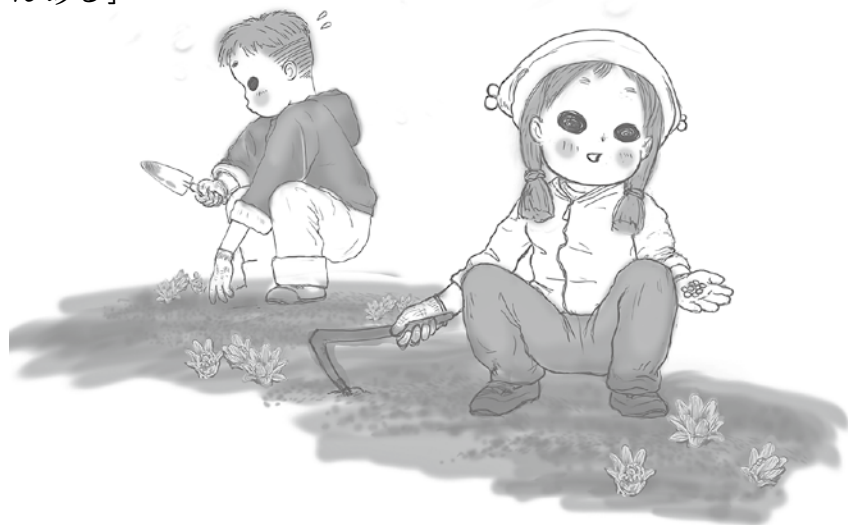
ウバユリの塊茎 わたし ほ
ウバユリの塊茎 私たちが・掘る (予定)
「ウバユリの塊茎を掘るぞ」


タニ クシンカ。 クアハカシ エトウンネ。
tani ku=sinka. ku=ahkas etunne.

いま わたし つか わたし ある いや
今 私が・疲れる 私が・歩く 嫌がる
「疲れた。歩きたくない」

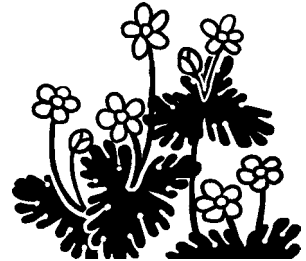
パハカイ レンカイネ アン。
pahkay renkayne an.

フキノトウ たくさん ある
「フキノトウがたくさんある」



 おぼ 覚えよう ~ 春の山菜 ~
はる さんさい

キト	kito	「ギョウジャンニク」
プクサキナ	pukusakina	「ニンソウ」
オパハタラ	opahtara	「ウド」
ルウェキナ	ruwekina	「フキ」



 れんしゅう 練習

クアハカシ エトウンネ。

ku=aphas etunne.

わたし ある 私が歩く いや 嫌がる

ある 「歩きたくない」

わたし ある 「私が歩く」の部分を他の言葉に置き換えて「…したくない」と言ってみましょう。

クモンライキ ku=monrayki

わたし しごと 「私が仕事をする」

クイカーシウ ku=ikaasiw

わたし てつだ 「私が手伝いをする」

クチャシ ku=cas

わたし はし 「私が走る」

 れんしゅう 練習

パハカイ レンカイネ アン。

pahkay renkayne an.

フキノトウ たくさん ある

「フキノトウがたくさんある」



「フキノトウ」の部分を上にあげた他の山菜に置き換えて「～がたくさんある」と言ってみましょう。

♪うたってみよう (1) ～^{もり}森のくまさん～♪

♪ シネアントタ ニタイ トウムタ キムンカムイ クヌカラ
sine an to ta nitay tum ta kimunkamuy ku=nukar
あるひ もりのなか くまさんに であった

♪ ルサム タ ノンノ ヘチラシパ キムンカムイ クヌカラ
ru sam ta nonno heciraspa kimunkamuy ku=nukar
はなさくもりのみち くまさんにであった

♪ キムンカムイ エネイタキ ポン メノコ ホクレ キラ
kimunkamuy ene itak hi pon menoko hokure kira
くまさんは こういった おじょうさん さあにげて

♪ すたこらさっさっさのさ すたこらさっさっさのさ

♪ ネ コロカイ キムンカムイ エノシ ホユプ ワ エク
ne korkay kimunkamuy en=os hoyupu wa ek
ところが くまさんが あとから ついてくる

♪ トコトコ トッコトッコト トコトコ トッコトッコト





♪ ポン メノコ エネチウカ ネツカイ エハチレ
 pon menoko en=eciwka nep kay e=hacire
 おじょうさん おまちなさい なにか おとしたよ

♪ レタラセイ アネカラ ポンポン キサルンペ
 retar sey an=ekar pon pon kisarunpe
 しろいかいで つくった ちいさな イヤリング

♪ キムンカムイ イヤイライケレ ウトウラノ リムセアン ノ
 kimunkamuy iyayraykere uturano rimse=an no
 くまさん ありがとう いっしょに おどりましょう

♪ ラララ ラララララ ラララ ラララララ

- * ♪ある〜ひ、もりのなか〜で始まる「森のくまさん」に、アイヌ語をつけてみました。
- * アイヌ語の歌詞は、もとの歌詞の直訳ではありません。
- * 歌詞に使われているアイヌ語は、浦河地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語訳:平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 講師・受講者の皆さん)

6月 走るの^はが^は速い^ね

運動会^{うんどうかい}のシーズン^はです。かけっこ^た、玉入れ^{たま}、つな引き^ひ。

がんばっている^{ども}友だち^はをおうえん^ししましょう。

エチャシ トウーナシ シリヒ。

e=cas tuunas sirihi.

君^{きみ}が^は走る^は速い^{はや}こと

「君^{きみ}は^は走る^はの^はが^は速い^{はや}ね」

タマ アンピシケヘチ。

tama an=piskehci.

玉^{たま} 私^{わたし}たち^はが^は数^{かず}える^{ふくすう} (複数)

「玉^{たま}を^は数^{かず}え^まし^まう」

ウェーカーリ ヤン。

weekaari yan.

集^あまる^あ しなさい

「集^あまれ^え」


シウプ シウプ

siwpu siwpu

がんばる^あ がんばる^あ

「がんばれ^あ がんばれ^あ」



 おぼえよう～色をあらわす言葉～

テタラ	tetara	「白 (い)」
クンネ	kunne	「黒 (い)」
フーレ	huure	「赤 (い)」

 れんしゅう 練習

アイヌ語で10までの数の数え方を覚えてみましょう。

もの かぞえ いう かい方 物を数える言い方			ひと かぞえ いう かい方 人を数える言い方		
1個	シネへ	sineh	1人	シネアイヌ	sine aynu
2個	トゥフ	tuh	2人	トゥアイヌ	tu aynu
3個	レへ	reh	3人	レアアイヌ	re aynu
4個	イーネへ	iineh	4人	イーネアイヌ	iine aynu
5個	アシネへ	asneh	5人	アシネアイヌ	asne aynu
6個	イワンペ	iwanpe	6人	イワンアイヌ	iwan aynu
7個	アラワンペ	arawanpe	7人	アラワンアイヌ	arawan aynu
8個	トゥペサンペ	tupesampe	8人	トゥペサンアイヌ	tupesampe aynu
9個	シネピサンペ	sinepisanpe	9人	シネピサンアイヌ	sinepisanpe aynu
10個	ワンペ	wanpe	10人	ワンアイヌ	wanpe aynu

* ここであげた数え方は藤山ハルさんの数え方です。

め 目はいくつ？ あし ゆび 足の指はいくつかな？
み 身のまわりにあるもの かぞえ 数を数えてみましょう。

きょうだい なんにん 兄弟は何人？
み 身のまわりにいるひと かぞえ 数を数えてみましょう。



7月 海へ行こうよ

かいすいよく かわあそ はま べ あそ ふね の
海水浴に川遊び。浜辺で遊んだり舟に乗ったり。アイヌ語を声に出しながら、楽しい
なつ す
夏を過ごしましょう。

タント アンペネ シヒセーセへ。

tanto anpene sihseeseh.

きょう とても あつ
今日 とても 暑い

「今日は暑いなあ」

オタカー タ エントウラ ヤン。

otakaa ta en=tura yan.

はま に わたし つ
浜 に 私を連れる しかない

「浜へ私を連れて行って」

オタカー タ サパヌ ワ ヘチレアナハチ。

otakaa ta sah=an wa hecire=anahci.

はま に さが わたし はつおん
浜 に 下る・私たちが て 遊ぶ・私たちが

「浜に行って遊びましょう」

* 「ン」の音に続けて「ワ」を発音すると、「ヌワ」という発音にかかります。


ナム ワハカ ククー ルスイ。

nam wahka ku=kuu rusuy.

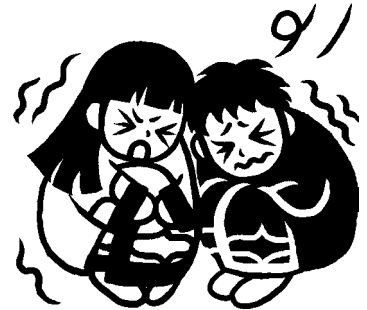
つめ みず わたし の
冷たい 水 私が飲む したい

「冷たい水が飲みたい」



 おぼ 覚えよう～暑さ、寒さの言葉～

シヒセーセへ	sihseeseh	「暑い」
シヒリテンノー	sihritennoo	「暖かい」
シリメナムノー	sirimemamnoo	「すずしい」
シンナムアン	sinnaman	「(人が)寒い」



 れんしゅう 練習

タント シヒセーセへ
tanto sihseeseh

きょう あつ
今日 暑い

「今日は暑いなあ」

「暑い」の部分^{ぶぶん}を他の言葉^{ほか}に置き換えて^{ことば}言^おて^かて^いて^いま^いま^いし^いょう^う。

 れんしゅう 練習

ナム ワハカ クー ヤン。
nam wahka kuu yan.

つめ みず の
冷たい 水 飲む なさい

「冷たい水を飲みなさい」

「冷たい水」の部分^{ぶぶん}を好きな飲み物^すに置き換えて^の「…が飲みたい」「…を飲みなさい」と言^いて^いま^いま^いし^いょう^う。

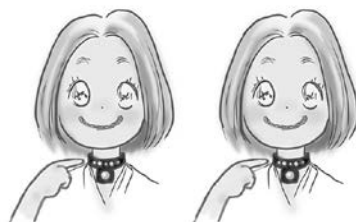


♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪

♪ シネ トウレブ
sine turep
1つの ウバユリ

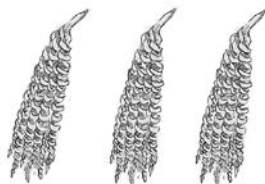


♪ トウ レクトウンペ
tu rekutunpe
2つの くびかざり

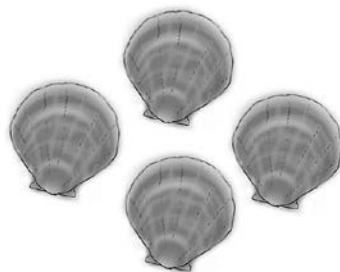


♪ レ イナウル
re inawru
3つの けずりかけ

♪ イネ アッケテク
ine akketek
4つの ほたて

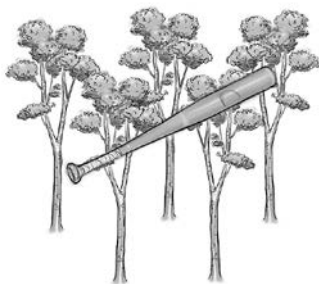


♪ アシクネ イワニ
asikne iwani
5つの アオダモ



♪ アイヌ イタカニ
aynu itak ani
アイヌごで

♪ イピシキキ ヤナニ
ipiski ki yan ani
かずを かぞえてね





♪ イワン アラカシ

iwan arkas
6つの かたごや



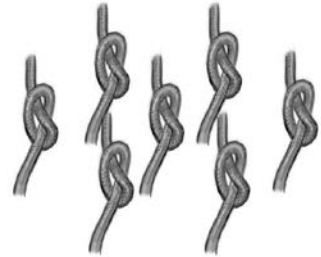
♪ アラワン トウペ

arwan tupep
7つの むすびめ



♪ トウペサン スネ

tupesan sune
8つの たいまつ



♪ シネペサン ワンパッカ

sinepesan wampakka
9つの てぶくろ



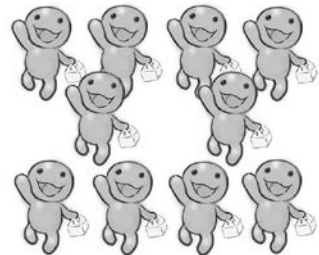
♪ ワン シネウェクル

wan sinewekur
10にんの おきゃくさん



♪ アイヌ イタカニ

aynu itak ani
アイヌごで



♪ シノツチャキアン ロク

sinotcaki=an rok
みんなであうたって みよう



* ひ〜とり、ふ〜たり、さん^{にん} いるよ、よ〜にん、ご〜にん、ろくにん いるよで
知られている「10人のインディアン」に、アイヌ語をつけてみました。

* 歌詞に使われているアイヌ語は、美幌^{びほろ}地方^{ちほう}の言葉^{ことば}が中心^{ちゅうしん}となっています。

(アイヌ語詞: 北原^{きたはら}次郎^{じろう}太^た)

がつ せんぞ たいせつ
8月 先祖を大切に

いの 祈りと お供えは いたつしても よいので、お盆 にあわせて おこなう ことも よく あります。
ご先祖 のことを まわりの ひと に 聞いて みましょ。う。

シンリヒ アンパーセカ。

sinrit an=paaseka.

せんぞ わたし うやま
先祖 私たちが 敬う

「先祖を敬う」

イライメカナハチ クス。

iraimeh =anahci kusu.

はいれい わたし
拝礼する 私たちが (予定)

「拝礼しますよ」

シンリトウタハ アンヌラハパ

sinritutah an=nurahpa

せんぞ わたし せんぞ くよう
先祖 私たちが 先祖供養をする (予定)

「先祖供養をしますよ」

クス。

kusu.


クハチコ オホタ アハチ トウイタハ キー ワ エンヌーレ。

ku=haciko ohta ahci tuytah kii wa en=nuure.

わたし ちい とき に おばあさん さんぶんせつ わ
私が 小さい ときに おばあさん 散文説話 する して わたし
私に 聞かせる

「私が子どもの頃、おばあちゃんがトウイタハをして私に聞かせました」



 おぼ 覚えよう～おじいさんやおばあさん～

ヘンケ	henke	「おじいさん」
アハチ	ahci	「おばあさん」
アチャポ	acapo	「おじさん」
ウナハペ	unahpe	「おばさん」



 れんしゅう 練習

クハチコ オホタ アハチ トウイタハ キー ワ エンヌーレ。
 ku=haciko ohta ahci tuytah kii wa en=nuure.

わたし ちい とき に おばあさん さんぶんせつ わ する して 私に 聞かせる
 私が 小さい ときに おばあさん 散文説話 する して 私に 聞かせる

「私が子どもの頃、おばあちゃんがトウイタハをして私に聞かせました」

「トウイタハ」の部分^{ぶぶん}を、ほかの言葉^{ことば}に置き換^かえて言^いってみましょう。

「ハウキ」「オйна」「ヘチレ」


トウイタハ tuytah…おもに、人間^{にんげん}が主人公^{しゅじんこう}のお話^{はなし}。

ハウキ hawki…おもに、オタスフの英雄^{えいゆう}が主人公^{しゅじんこう}のお話^{はなし}。歌^{うた}のようにメロディー^{はなし}にのせて
 語る^{かた}。

オйна oyna…おもに、ヤイレスーポという男性^{だんせい}や、動物^{どうぶつ}が主人公^{しゅじんこう}のお話^{はなし}。
 地の文^{ちぶん}の合間^{あいま}に繰^くり返^{かえ}しの文句^{もんく}を入^いれて歌^{うた}う。

ヘチレ hecire…おおぜいで、短い歌詞^{みじかかしりんしょう}を輪唱^{りんしょう}などで歌^{うた}う歌^{うた}と踊^{おど}り。



 かいせつ 解説～ご先祖^{せんぞ}さまへのお供え^{そな}～

- 8月^{ががつ}になるとお墓^{はかまい}参^{まゐ}りをする人^{ひと}がおおぜいいますね。お墓^{はかまい}参^{まゐ}りをして、亡^なくなった人^{ひと}にきれいなお花^{はな}や食べ物^{たべもの}をお供え^{そな}して楽^{たの}しんでもらいます。
- アイヌの暮^{あそ}らしでは、お墓^{はかまい}に行^いかず家^{うち}の近^{ちか}くでお供え^{そな}をすることも多^{おほ}かったようです。お花^{はな}ではなく木^きで作^{つく}ったイナウ（御幣^{ごへいじょう}状^{じょう}のもの）、お団子^{だんご}やお菓子^{かし}やお酒^{さけ}、たばこ、亡^なくなった人^{ひと}が好^すきだったものをお供え^{そな}します。
- 亡^なくなった人^{ひと}たちは、あ^{あの}世^よで暮^{あそ}らしているの^{ので}、火^ひの神^{かみ}様^{さま}に「お供え物^{そな}を届^{とど}けてく^{くだ}さい」とお願^{ねが}いします。それ^{から}、亡^なくなった人^{ひと}の名^な前^{まえ}を言^いって、自^じ分^{ぶん}の名^な前^{まえ}も言^いながら「これ^ををお供え^{そな}します」とい^いってお供え^{そな}をします。食^たべ物^{べもの}はみ^{みな}なちぎ^ぎって地^じ面^{めん}にま^まぎます。飲^のみ物^{ぶつ}も地^じ面^{めん}にま^まぎます。そう^{する}と、食^たべ物^{べもの}のい^いのち^ちが何^{なん}倍^{ばい}にもな^なって、亡^なくなった人^{ひと}のと^ところ^とに届^{とど}くとい^いわ^われてい^います。

がっ
9月 おいしいものがいっぱい

あき 秋になると、やま 山の幸、うみ 海の幸、おいしいものがいっぱいです。とく 特にサケはだいじ 大事な食べ物
もので、いろいろ 色々な料理になります。

タニ クイペルスイ。

tani ku=iperusuy.

いま わたし なか
今 私が・お腹がすく

「お腹がすいたよ」

タン ホマ チカリペ エー ヤン。

tan homa cikaripe ee yan.

この すじこ りょうり 食べる なさい
この 筋子 料理 食べる なさい

「この筋子をまぶした団子を食べなさい」

タン ペ アンペネ ケーラアン。

tan pe anpene keeraan.

この もの ほんとう 本当に おいしい
この もの 本当に おいしい

「これは本当においしい」

カルシ アンカラ クス ヘキモホ

karus an=kara kusu hekimoh

キノコ わたし たちが・採る ために やま 山へ
キノコ 私たちが・採る ために 山へ


「キノコを採りに山へ行きましょう」

マカパナハチ。

makah=anahci.

い 行く・わたし たちが
行く・私たちが



 おぼ 覚えよう～さかなに^{かん}に関する^{こと}言葉^ぼ～

チュフチェヘ	cuhceh	「サケ」
ヘモイ	hemoy	「マス」
スプン	supun	「ウグイ」
ハチュフチェヘ	hacuhceh	「シシャモ」



 れんしゅう 練習

タン ホマ チカリペ エー ヤン。
tan homa cikaripe ee yan.

この ^{すじこ}筋子 ^{りょうり}料理 ^た食べる ^{なさい}なさい

「この^{すじこ}筋子の^{りょうり}料理を^た食べなさい」

「^{すじこ}筋子の^{りょうり}料理」の部分^{ぶぶん}を他の^{ほか}食べ物^たに置き換えて「～を^た食べなさい」と^い言ってみましょう。

シト sito 「^{だんご}団子」
チェヘ オハウ ceh ohaw 「^{さかな}魚のおつゆ」
モシ mos 「ゼリー」

 れんしゅう 練習

カルシ アンカラ クス パイエアナハチ。
karus an=kara kusu paye=anahci.

キノコ ^{わたし}私たちが^と採る ^{ため}ために ^い行く・^{わたし}私たちが

「キノコを採りに^い行きましょう」



「キノコを^と採る」の部分^{ぶぶん}を他の^{ほか}言葉^{ことば}に置き換えて^お言ってみましょう。

イホカン ihoh_=an 「^{わたし}私たちが^か買^{もの}い物をする」
シーネアン siine=an 「^{わたし}私たちが^{やす}休む」

♪うたってみよう(3)～おびひろのおどりうた～♪

おびひろ たの 帯広には楽しいうたとおどりがたくさん伝わっています。みんなでうたってみましょう。地元のひとにおそわっておどりもおぼえましょう。

○ヘレカンホ○

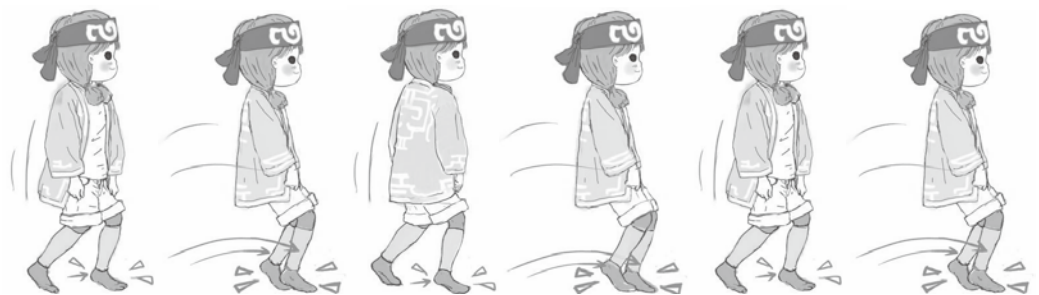
♪ヘレカンホ ヘレカンホ イ ヘレカンホ ヘイ チュイ アウ ホイ
herekanho herekanho i herekanho hey cuy aw hoy



①両手をひだりしたに、左足をすすめる→両手を右上にパン、右足をよせる



②かがんで両手でひざをポンポン→左にとびながら体をひねって両手をひらく



③左足を小さくふみだし両足でピョン→右足を小さくふみだし両足でピョン

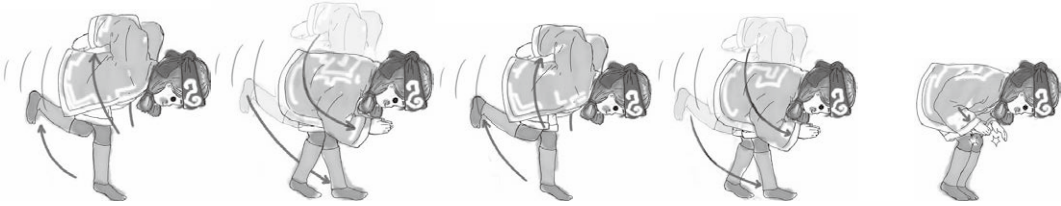




○パッタキリムセ○

♪ ハエー ハエー トカチ エソロ ハエー ハエー
 hae i hae i tokaci esoro hae i hae i
とからがわ そ
 十勝川に 浴って

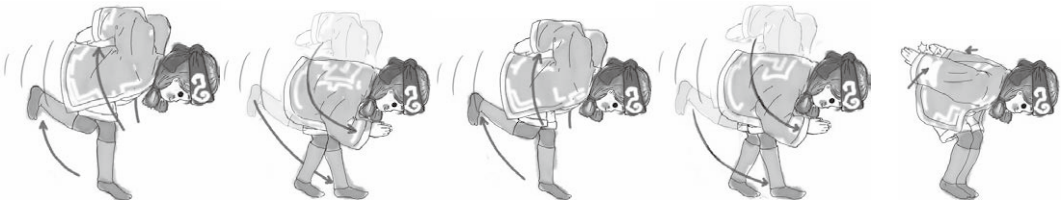
♪ ハ! チコツチャケ タ チコツカパケ チウトモキ!
 ha! ci=kotcake ta ci=kokkapake ci=utomoki!
わたし まえ わたし わたし う あ
 私の前 で 私のひざ 私が・打ち合わせる(?)



- ①腰をかがめ、肘を曲げて両手を後ろへ、いっしょに片足をかかとから後ろへ手
あし まえ あし すこ まえ
 と足を前へもどしながら、もどした足を少し前へすすめる(交互に繰り返し)
 ②歌が変わったところで膝を屈伸し両手で膝をポンポン

♪ ハエー ハエー トカチ エソロ ハエー ハエー
 hae i hae i tokaci esoro hae i hae i
とからがわ そ
 十勝川に 浴って

♪ ハ! チオシマケ タ チシットケウエ チウトモキ!
 ha! ci=osmake ta ci=sittokewe ci=utomoki!
わたし うし わたし わたし う あ
 私の後ろ で 私のひざ 私が・打ち合わせる(?)



- ③歌がもどったら①と同じ動き
 ④歌が変わったところで膝を屈伸し、両手を後ろに伸ばしてポンポン



10月 冬が来る前に

秋が深まって日の暮れるのが早くなっても、子どもたちは外で遊ぶのが好き。大人たちが少しずつ始める冬支度。アイヌ語で言ってみましょう。

クアーチャ サハペ レンカイネ コロホチ。

ku=aaca sahpe renkayne korohci.

わたしのお父さん 干し魚 たくさん 買う

「父さんは干し魚をたくさん買った」

クオンモ カルシ サハケ。

ku=ommo karus sahke.

わたしのお母さん キノコ 乾かす

「お母さんはキノコを干した」

ソイ タ ヘチレアナハチ。

soy ta hecire=anahci.

外 で遊ぶ・私たちが

「外で遊びましょう」


レーラ ユッケ クス チセ オホ タ ヘチレアナハチ。

reera yuhke kusu cise oh ta hecire=anahci.

風 激しい ので 家 中で遊ぶ・私たちが

「風が強いから、家の中で遊ぼう」



 おぼえよう～天気に関する言葉

アハト	ahto	「雨」
レーラ	reera	「風」
オパシ	opas	「雪」
ルパイ	rupay	「あられ」



 れんしゅう 練習

クアーチャ サハペ レンカイネ コロホチ。
ku=aaca sahpe renkayne korohci.

わたし・お父さん 干し魚 たくさん 買う

「父さんは干し魚をたくさん買った」

「干し魚」の部分^{ほ ぎかな}を他の物^{ぶぶん}に置き換えて「父さんは～をたくさん買った」と言ってみましよう。

 れんしゅう 練習

レーラ ユッケ クス チセ オホ タ ヘチレアナハチ。
reera yuhke kusu cise oh ta hecire=anahci.

風 激しい ので 家 中で 遊ぶ・私たちが

「風が強いから、家の中で遊ぼう」

「風が強い」の部分^{かぜ つよ}を「雨が降る」^{あめ ふ}「雪が降る」^{ゆき ふ}「あられが降る」^{おろし ふ}に置き換えて言ってみましよう。

アハト ラン ahto ran 「雨が降る」
オパシ ラン opas ran 「雪が降る」
ルパイ ラン rupay ran 「あられが降る」



がつ はり いと
11月 針と糸をもって

てづく りのものが身のまわりにある、てま じかんをかけてつくったものをわたされる、すこ あたたかな気分になります。アイヌ語で言ってみましょう。

クアーチャ アハルシ ミー。

ku=aaca ahrus mii.

わたし とう 私の・お父さん じゅ ひ い 樹皮衣 きてる

「お父さんがアハルシを着る」

クオンモ ケメイキ エアシカイ。

ku=ommo kemeiki easkay.

わたし かあ 私の・お母さん 刺しゅう できる

「お母さんは刺しゅうがじょうず」

タン イミー クコロ ペ ネー。

tan imii ku=koro pe nee.

この きもの 私の 私が持つ もの である

「この着物は私のものだよ」


クナンナ カーエカ ワ モンペチ アラカ。

ku=nanna kaaeka wa monpeci araka.

わたし あね 私の・姉 糸をつくる して て 手の指 痛い

「姉さんは糸作りをして手の指が痛くなった」



 おぼ 覚えよう～はりしごとのことば 針仕事の言葉～

ケム	kem	はり 「針」
カー	kaa	いと 「糸」
スーカウカカー	suukaukaka	ぬい いと 「縫い糸」



 れんしゅう 練習

タン イミー クコロ ペ ネー。

tan imii ku=koro pe nee.

この ^{きもの}着物 ^{わたし}私が ^も持つ ^{もの}ものである

「この着物は私のものだよ」

わたし ^{きもの}着物 ^{ぶぶん}の部分を ^{ほか}他の ^{ことば}言葉 ^{おきか}に置き換えて ^か「これは～だよ」と ^い言ってみましょう。

コンチ konci ^{ぼうし}「帽子」

サハカ sahka 「はし」

イタンキ itanki 「おわん」

 れんしゅう 練習

モンペチ アラカ。

monpeci araka.

^て手の ^{ゆび}指 ^{いた}痛い

「手の指が痛い」

て ^{ゆび}指 ^{ぶぶん}の部分を ^{ほか}他の ^{ことば}言葉 ^{おきか}に置き換えて ^か「～が痛い」と ^い言ってみましょう。

クサパ ku=sapa ^{わたし}「私の頭」 ^{あたま}

クレクチ ku=rekuci ^{わたし}「私の喉」 ^{のど}

クホニ ku=honi ^{わたし}「私の腹」 ^{はら}

クイマキ ku=imaki ^{わたし}「私の歯」 ^は

クトウマム ku=tumamu ^{わたし}「私の腰」 ^{こし}



♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜^{よる}～

♪ ジングルベル ♪
♪ ウパシ ポロ ヌソ アオ ワ

upas poro nuso a=o wa
すごいゆきだ ソリにのって

♪ パイエアンロ ミナアン カネ

paye=an ro mina=an kane
でかけよう わらいながら

♪ ヌソ エトコタ エトロ チャラケ

nuso etoko ta etor carke
ソリのまえて すずがちりん

♪ アエケウトウムシノチタラ

a=ekewtumusinocitara
みんなのきもちもわくわくさ

♪ ジングルベルジングルベル トウヌニタラ

ジングルベルジングルベル tununitara
ジングルベルジングルベル すずがなる

♪ ヌソ アエシノッコロ アエキロラン

nuso a=esinot kor a=ekiroran
ソリであそぶと めちゃたのし

♪ ジングルベルジングルベル トウヌニタラ

ジングルベルジングルベル tununitara
ジングルベルジングルベル すずがなる

♪ ヌソ アエシノッコロ アエキロラン

nuso a=esinot kor a=ekiroran
ソリであそぶと めちゃたのし





♪ きよしこの夜^{よる} ♪

♪ シオイナ タヌクラン
sioyna tan ukuran
せいなる このよる

♪ キヤイ ノチウ
kiyay nociw
かがやくほし

♪ カムイ ポンテイネシ
kamuy pon teynesi
かみの おさなごは

♪ コロ ハポ ウソロ
kor hapo upsoro
ははの ふところに

♪ エモコロ キナ アプニタラ
emokor ki na apunitara
ねむっている やすらかに



* クリスマクソングの定番^{ていばん}である「ジングルベル」と「きよしこの夜^{よる}」にアイヌ語^ごをつけてみました。

* 歌詞^{かし}に使われているアイヌ語^ごは、**幌別地方の言葉**^{ほろべつちほう ことば}が中心^{ちゅうしん}となっています。

(アイヌ語訳: 平成^{へいせい}22年度^{ねんど}イオル事業^{じぎょう}・アイヌ文化^{ぶん かもん}伝承者^{でんしょう}育成^{りくせい}事業^{じぎょう} 講師^{こうし}・受講者^{じゅこうしゃ}の皆さん^{みな})

がつ きょう さむ
12月 今日も寒いねえ

寒い日が続きます。風邪をひかないように注意しながら、アイヌ語の勉強を続けましよう。

オパシ ラニヒ。
opas ranihi.

ゆき ふ 降ったこと
「雪が降ったぞ」



クテキヒ カ ルプシ。 クケマハ カ ルプシ。
ku=tekihi ka rupus. ku=kemaha ka rupus.

わたしの手 も 冷たい 私の足 も 冷たい
「手も冷たい。足も冷たい」

ウンチアーレ キー ヤン。
unciaare kii yan.

ひ たく する なさい
「火を焚きなさい」

エオンケカラハ？
e=onkekaraha?

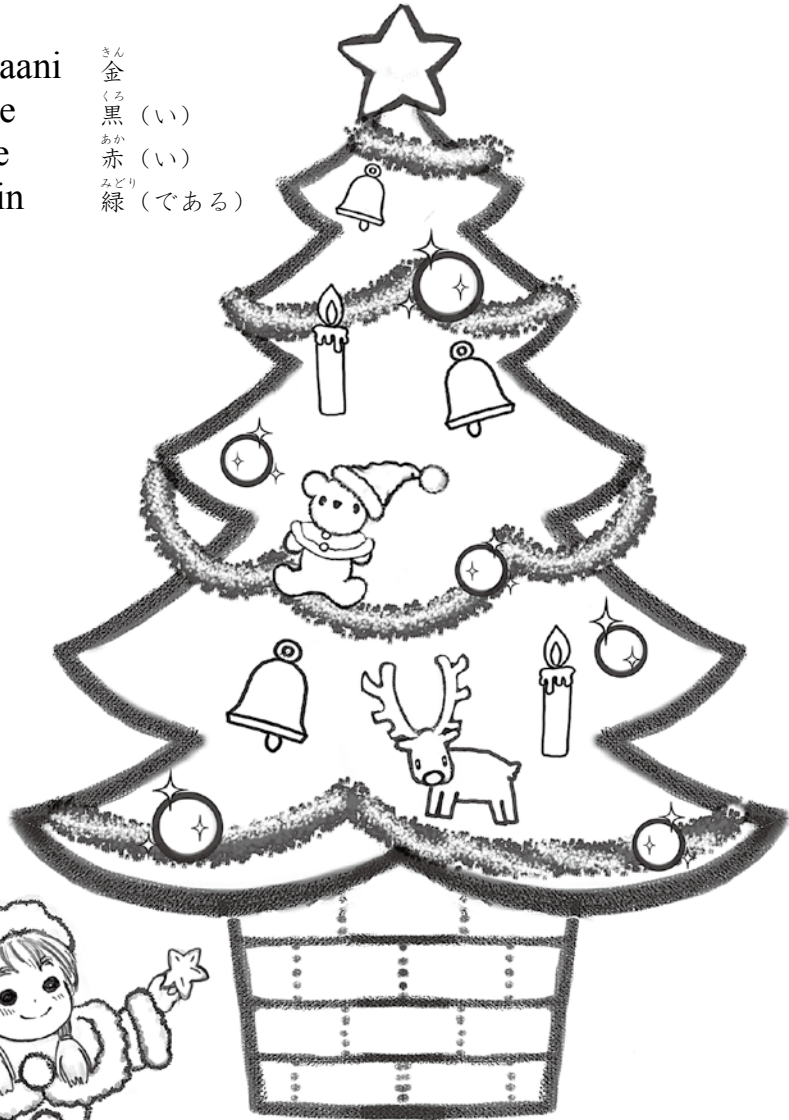
きみが風邪をひくこと
「風邪をひいたの？」



ぬりえ

好きな色をぬってみましょう。アイヌ語の色をあらわす言葉も、あわせておぼえましょう。

コンカーニ	konkaani	きん 金 (くろ)
クンネ	kunne	黒 (い)
フーレ	huure	あか 赤 (い)
シウニン	siwnin	みどり 緑 (である)



シロカーニ	sirokaani	ぎん 銀 (しろ)
テタラ	tetara	白 (い)
シウニン	siwnin	あお 青 (い)
ウポトホ シウニン	upotoh siwnin	むらさき 紫 (である)
エポホコイポロ	epohkoiporo	きいろ 黄色 (い)

がっ まつ じゅんび
1月 お祭りの準備

ふゆ まつ おとこ ひと じゅんび おんな ひと じゅんび
冬にはお祭りがたくさんあります。男の人の準備、女の人の準備、どんなことをして
いるのでしょうか。


アシリ パー アン ナ。
asiri paa an na.
あたら とし あり ぞ
新しい年 あります
「新しい年になりました」

オホカヨ ウタラ イナウカラハチ。 マハテクウ ウタラ トーノト カラハチ。
ohkayo utara inawkarahci. mahtekuh utara toonoto karahci.
だんせい たち もくへい けず じょせい たち さけ つく
男性 たち 木幣を削る 女性 たち 酒 作る
おとこ ひと おんな ひと さけ し こ
「男の人たちはイナウを削る」 「女の人たちはお酒を仕込む」

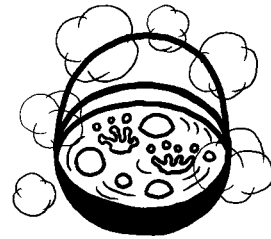
ハンカ ウコイキ ヤン。
hanka ukoyki yan.
するな けん か 喧嘩をする なさい
喧嘩をしてはいけません

ポンノ エンカーシウ ヤン。
ponno en=kaasiw yan.
すこ わたし て つだ 私を手伝う なさい
少し手伝ってちょうだい



 おぼ 覚えよう～^{どうぐ} 道具や^{りょうり} 料理の^{なまえ} 名前～

マキリ	makiri	^{こがたな} 「小刀」
ムカラ	mukara	^{おの} 「斧」
トゥーキ	tuuki	^{しゅはい} 「酒杯」
チカリペ	cikaripe	^ま ^{ものりょうり} 「混ぜ物料理」
オハウ	ohaw	「おつゆ」

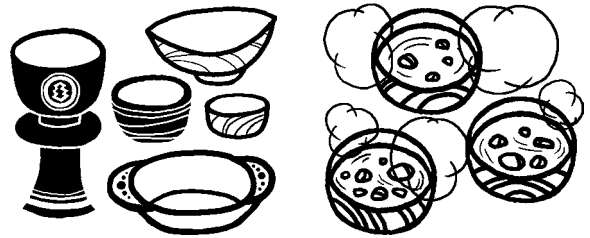


 ^{れんしゅう} 練習

ハンカ ウコイキ ヤン。
hanka ukoyki yan.

するな ^{けんか} 喧嘩をする なさい

「^{けんか} 喧嘩をしてはいけません」



「^{けんか} 喧嘩をする」の部分^{ぶぶん}を他の^{ほか}言葉に^{ことば}置き換えて「～してはいけません」と言^いってみましよう。

スンケ sunke 「うそをつく」

ヘチレ hecire 「遊ぶ^{あそぶ}」

オイラ oyra 「～を^{わす}忘れる」



♪うたってみよう(5)～ からだのうた (しずかなこはん)～♪

① ♪ サパ(ハ) エトウ(フ) シキ(ヒ) チャロ(ホ)

sapa(ha) etu(hu) siki(hi) paro(ho)
あたまの頭 はなの鼻 めの目 くちの口

♪ キサラ(ハ) ナヌ(フ)

kisara(ha) nanu(hu)
みみの耳 かおの顔

♪ ルーシチ(ヒ) レクチ(ヒ)

ruusici(hi) rekuci(hi)
あたまの頭 はなの鼻

♪ テキ(ヒ) ホニ(ヒ)

teki(hi) honi(hi)
ての手 はらの腹

♪ クイサパ(ハ) ウレ(ヘ)※

kuysapa(ha) ure(he)
ひざのひざ あしの足 くびの首 さきから先

♪ ケマ(ハ) ウシクイエ(ヘ)

kema(ha) uskuye(he)
あしの足 (全体) ししのお尻





② ヤラケポキ(ヒ) シヒトキ(ヒ)

yarakepoki (hi) sihtoki (hi)
 のわぎ の肘



モンペチ(ヒ) アミ(ヒ)

monpeci (hi) ami (hi)
 の指 のつめ



テヘコトロ(ホ) コトロ(ホ)

tehkotoro (ho) kotoro (ho)
 のてのひら の胸



アウエ(ヘ) イマキ(ヒ)

awe (he) imaki (hi)
 の舌 の歯



ラル(フ) ハンク(フ)

raru (hu) hanku (hu)
 のまゆ のへそ



トウマム(フ) セトウル(フ)

tumamu (hu) seturu (hu)
 の腰 の背中



☆「静かな湖畔」のふしにあわせて、からだの各部の呼び方を覚える歌です。指差したり、動かしたりしながら覚えましょう。
 下線を引いた単語は () の中まで歌います。

さくせい きたはらじろうた
 (作成:北原次郎太)

がつ かんしゃ
2月 カムイに感謝をする

アイヌの大きなお祭りのひとつに、イオマンテという行事があります。おおぜいの人
が集まって、人間の世界にやって来た動物のたましいを、神さまの世界に送り帰します。

ウンチカムイ カムイ アハチ オンネ クアチャポ イノンノイタハ。
uncikamuy kamuy ahci onne ku=acapo inonnoitah.

火の神 神のお婆さん ところへ 私の・おじさん お祈り唱える
「火の神様、神様のおばあさんに私のおじさんがお祈りしました」

クユッポホ イナウ ルーラ。
ku=yuhpoho inaw ruura.

私の・兄さん 木幣 運ぶ
「兄さんがイナウを運ぶ」

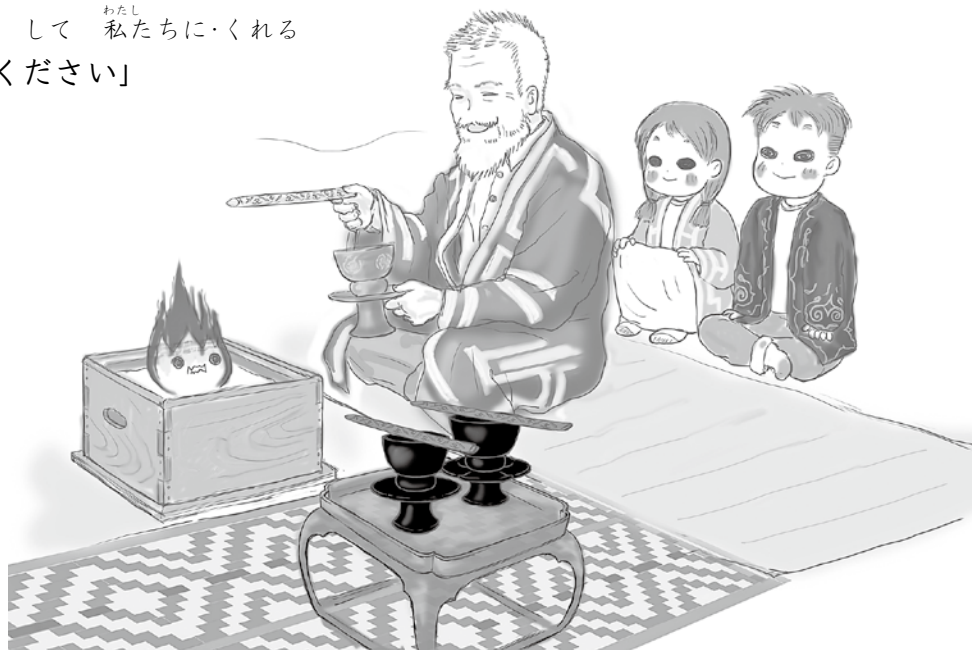



ヌーマン オヌーマン クモコロ コヤイクシ。
nuuman onuuman ku=mokoro koyaykus.

さくぼん わたし ねむ できない
「昨日の夜は眠れなかった」

カンナ ウタサ ワ イコンテ。
kanna utasa wa i=konte.

また 遊びにくる して 私たちに・くれる
「また遊びに来てください」



 おぼえよう～お祭りに使う言葉～

イヤイライキレ	iyayraykire	「感謝する」
イナウシ	inawsi	「戸外の祭壇」
カムイプヤラ	kamuyputyara	「上座の窓」



 れんしゅう 練習


クモコロ コヤイクシ。
ku=mokoro koyaykus.

わたしねむ 私が・眠る できない
わたしねむ 「私は眠れなかった」

「私が眠る」の部分^{わたしねむ}を他の言葉^{ぶぶん}に置き換えて「私は…できなかつた^お」^{わたし}と言ってみましょう。

クヌマ ku=numa 「私が起きる」
クヘチレ ku=hecire 「私が遊ぶ」
クイペカラ ku=ipekara 「私が料理する」



 かいせつ 解説～神さまを送るお祭り～

アイヌの考え方^{かんが}では、多くの動物^{かた}は神^おの動物^{どうぶつ}は神^{かみ}さまであるとされます。それらの動物^{どうぶつ}は、人間^{にんげん}の世界^{せかい}では動物^{どうぶつ}の^かっこう^をしていますが、神^{かみ}の住む世界^{せかい}では人間^{にんげん}と同じように暮らしているのだといひます。

人間^{にんげん}は、動物^{どうぶつ}の^かっこう^をして人間^{にんげん}の世界^{せかい}に遊び^{あそ}に来た神^{かみ}さまのたましい^きを、神^{かみ}の住む世界^{せかい}に送り帰す^{かえ}ために、いろいろ^{ぎしき}な儀式^{まつ}をおこなひます。

生まれて間^まもない子グマ^こを育て^{そだ}て、一定^{いっ}の時期^{じき}が来た^きたらそのたましい^おを送^{かえ}り帰^{ぎしき}す儀式^{まつ}、祭^{いっ}りを一般的^{ばんてき}にイオマンテ^{まつ}といひます。

火^ひの神^{かみ}をはじめ、さまざま^{かみ}な神^{かみ}々^{ちから}の力^{ちから}を借^かりて、子グマ^このたましい^おが無^ぶ事に神^{かみ}の国^{くに}に還^{もど}れるようにお祈^{いの}りをし^{ます}。子グマ^こには、たくさん^ものみやげ^{かみ}を持^もたせて、神^{かみ}の国^{くに}でしばらくお休^{やす}みになつたら、また人間^{にんげん}の世界^{せかい}に遊び^{あそ}びに来て^きください、とお願^{ねが}ひし^{ます}。男^{おとこ}の人^{ひと}たちは飾^{かざ}りのついた矢^や（一般^{いっばん}に「花^{はな}矢^や」といひます）で子グマ^こを射^いて、そのまわり^{おんな}を女^{おんな}の人^{ひと}たちが輪^わになつて踊^{おど}ります。この祭^{まつ}りは、アイヌ^{ぎしき}の儀式^なの中^{なか}でも盛大^{せいたい}におこな^ひわれるもの^{ひと}の一つ^{なんにち}で、何日^{あいだ}もの間^{よる}、夜遅^{おそ}くまで続^{つづ}きます。

子グマ^このたましい^おは、無^ぶ事に神^{かみ}の世界^{せかい}に還^{もど}つたら、たくさん^ものみやげ^{かみ}にかこまれながら、人間^{にんげん}のもと^{もと}を、またいつか訪^{たず}ねよう^{かんが}と考^{かんが}えるのだ^{たず}そうです。

3月 子グマを授かる

寒さがゆるんでヒグマが冬眠から目覚める頃に山獵をすると、母グマと一緒に生まれたばかりの子グマを捕獲することがあります。このことは、アイヌの暮らしの中では神さまから子グマの飼育を任せられたと受け止められ、たいへん名誉なことだと考えられてきました。

アーチャ、ナケネ エオマニヒ?

aaca, nah_ ene e=omanihi?

ちちおや 父親 どこ へ きみ 君が・行くこと

「お父さん、どこに行くの？」

*ナハ エネ「どこ・へ」はひとまとまりに発音してナケネになります。

キモイキ クス キン タ クマカン。

kimoyki kusu kin ta ku=makan.

やまりよう 山獵をする ために やま 山 へ わたし のぼ 私が・上る

「山に獵に行くんだ」

クアニ カ クオマン ルスイ。

kuani ka ku=oman rusuy.

わたし 私 も わたし 自分が・行く したい

「僕も行きたいなあ」


ポン イソ シアンノ ピリカ。

pon iso sianno pirika.

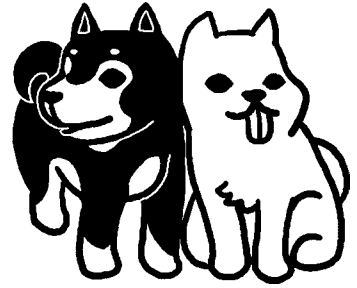
ちい 小さい クマ 本当に よい

「子グマはとてもかわいい」



 おぼえよう～「小さな」の言い方～

ポン イソ	pon iso	「子グマ」
ポン チカハ	pon cihak	「小鳥」
ポン チエヘ	pon ceh	「小魚」
ポイ セタ	pon_seta	「小犬」



* ポン「小さい」は、セタ「犬」の前では、ポイという発音にかわることもあります。

 練習

クアニ カ クオマン ルスイ。
kuani ka ku=oman rusuy.

わたし も 私が・行く したい

「僕も行きたいなあ」

「私が行く」の部分^{わたし}を他の言葉^いに置き換えて「私も…したい」と言ってみましょう。

ケーラアン イペ クエー keeraan ipе ku=ee
クウタサ ku=utasa
クヘチレ ku=hecire

「私^{わたし}がおいしいもの^たを食べる」
「私^{わたし}が遊び^{あそ}びに行く」
「私^{わたし}が遊ぶ」



これまで学^{まな}んできた文^{ぶん}の中に、「ク ku=」と「エ e=」という言葉^{ことば}がいくつも出^でてきます。「ク ku=」は、日本語^{にほんご}で「私^{わたし}が（私^{わたし}は）」、「エ e=」は「君^{きみ}が（君^{きみ}は）」という意味^{いみ}です。

アイヌ語^ごでは、「食べる」^た「飲む」^の「遊ぶ」^{あそ}など、自分^{じぶん}が何か^{なに}をする場合^{ばい}には、「～する」という意味^{いみ}のアイヌ語^ごの前に、必ず「ク ku=」という言葉^{ことば}を付けます。

例えば、「私^{わたし}は外^{そと}で遊^{あそ}んだ後^{あと}にお菓子^{かし}を食^たべて、それから水^{みず}を飲^のんで寝^ねた」という文^{ぶん}をアイヌ語^ごにしようとすると、「遊^{あそ}んだ」、「食^たべて」、「飲^のんで」、「寝^ねた」の4つをアイヌ語^ごにしてから、4つ全部^{ぜんぶ}に必ず^{かなら}忘れ^{わす}れずに「ク ku=」を付けます。これはアイヌ語^ごの大事^{だいじ}な決まり^{きまり}ごとのひとつです。

詳しいこと^{くわ}は『初級編^{しょきゅうへん}』で、また勉強^{べんきょう}しましょう。

☆12カ月の月のなまえ☆

アイヌ語による月の言い方を紹介します。地域によって言い方に違いがあります。

4月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ウパシルレチュブ arakoj noka モチユブ	upasrurecup arakoj noka mocup	「雪をとかす月」 「キウリ魚の姿を見る月」 「達者で静かに暮らしているから」
5月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ムンドッカチュブ ihumpa čux シンチチュブ	muntukkacup ihumpa čux sincicup	「草を生やす月」 「山菜を刻む月」 「これからあたたかくなる」
6月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	トイタチュブ ima čux マウタチュブ	toytacup ima čux mawtacup	「土を掘る月」 「魚の焼干しを作る月」 「ハマナスを植える月」
7月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	クンネヤシチュブ saxčex čux マウチチュブ	kunneyascup saxčex čux mawcicup	「夜流し網する月」 「乾魚を作る月」 「ハマナスが熟す月」
8月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	クンネスシチュブ ikara čux ハブラブ	kunnesuscup ikara čux haprap	「夜沐浴する月」 「？」 「木の葉が落ちそうにたれさがる月」
9月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ヤシチュブ urexkita čux ニホラク	yascup urexkita čux nihorak	「流し網する月」 「足裏に霜を感ずる月」 「草や木の葉がおちる月」
10月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	コムニランチュブ komnirancup ウレポク	komnirancup surani čux urepok	「松明による川漁の月」 「足の裏で霜柱がパラパラ鳴るから」
11月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ニテ克蘭ケチュブ nitekrankecup nan čux ルウェカリチュブ	nitekrankecup nan čux ruwekaricup	「木の枝落とす月」 「寒冷な月」 「鹿を追って先回りする月」
12月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ウパシランケチュブ upasrankecup rū čux チュルブ	upasrankecup rū čux curup	「雪降らす月」 「凍結する月」 「雪煙が立つ月」
1月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	イノミチュブ inomicup toetanne トウエタンネ	inomicup toetanne towetanne	「祈る月/つき」 「日が永くなる月」 「1月日が長くなる」
2月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	タシクルチュブ taskurucup haxrax クウェカイ	taskurucup haxrax kuwekay	「霜降る月」 「黒百合塊茎を掘る月」 「雪で仕掛け弓に使う台が壊れる」
3月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	トエタンネ toetanne kiūta キウタチュブ	toetanne kiūta kiwtacup	「日長くなる」 「姥百合塊茎を掘る月」 「ユキザサ」

* 石狩川方言の月名は『昭和56年度アイヌ民俗文化財調査報告書 アイヌ民俗調査Ⅰ(旭川地方)』(北海道教育委員会, 1982年) から引用しました。ただし、日本語訳は同書の内容を要約してつけたものです。これは旧暦に基づいた月名です。

* 多蘭泊方言の月名は、山本祐弘『樺太アイヌ・住居と民具』(相模書房, 1970年) から引用しました。ただし日本語訳は分りやすく変えたところがあります。なお、čuxはチュ、xは小さいハ、ヒ、フ、ヘ、ホに近い音だと考えられます。

* ※沙流の月名は田村すず子さんの『アイヌ語沙流方言辞典』を参考にしています。これは旧暦に基づいた月名です。

■ クロスワードの正解 せいかい

		4	コ		7	サ	ク
1	エ	ト	ロ			ツ	
	カ		5	コ	ン	チ	
	シ		ニ			エ	
		3	マ		6	ア	プ
2	オ	タ			ハ		

からふとのアイヌご

発行年月 2014年3月

発行 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構
〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 5階
TEL (011)271-4171 FAX (011)271-4181
URL <http://www.frpac.or.jp> E-mail: ainu@frpac.or.jp

印刷 株式会社北海道機関紙印刷所

